

在宅高齢者の看護アセスメント支援プログラムソフト

心不全および認知症患者の急増が心配される中、救急医療の現場も圧迫されています。

**多くの高齢者が持病があっても、急性増悪による緊急入院を繰り返すことなく、
自宅でこれまで大切に生きてきた生活を可能な限り維持しながら、生活できるために！**

急性増悪による緊急入院は、苦しい体験が重なるだけでなく、心臓にも良くない。
だから、緊急入院にならないためのケアが必要。そんなことを願い、実際に急性増悪の予防に従事してきた訪問看護師の看護実践と知恵を終結した在宅高齢者看護支援プログラムソフトを開発しました。

高齢者の心肺機能および認知症/せん妄症状をアセスメントするための医学的知識を含めた看護支援プログラムソフトは、これらのことに貢献できます。

- 看・看連携の推進(医学的情報の共有)
- 高齢者の身体が発するサインズから病態をアセスメント
- 高齢者の心不全などによる再入院の予防
- 認知症による症状の変化を見逃さない
- せん妄症状と認知症症状の違いを見極める
- ACP：Advance Care Planningの推進 など

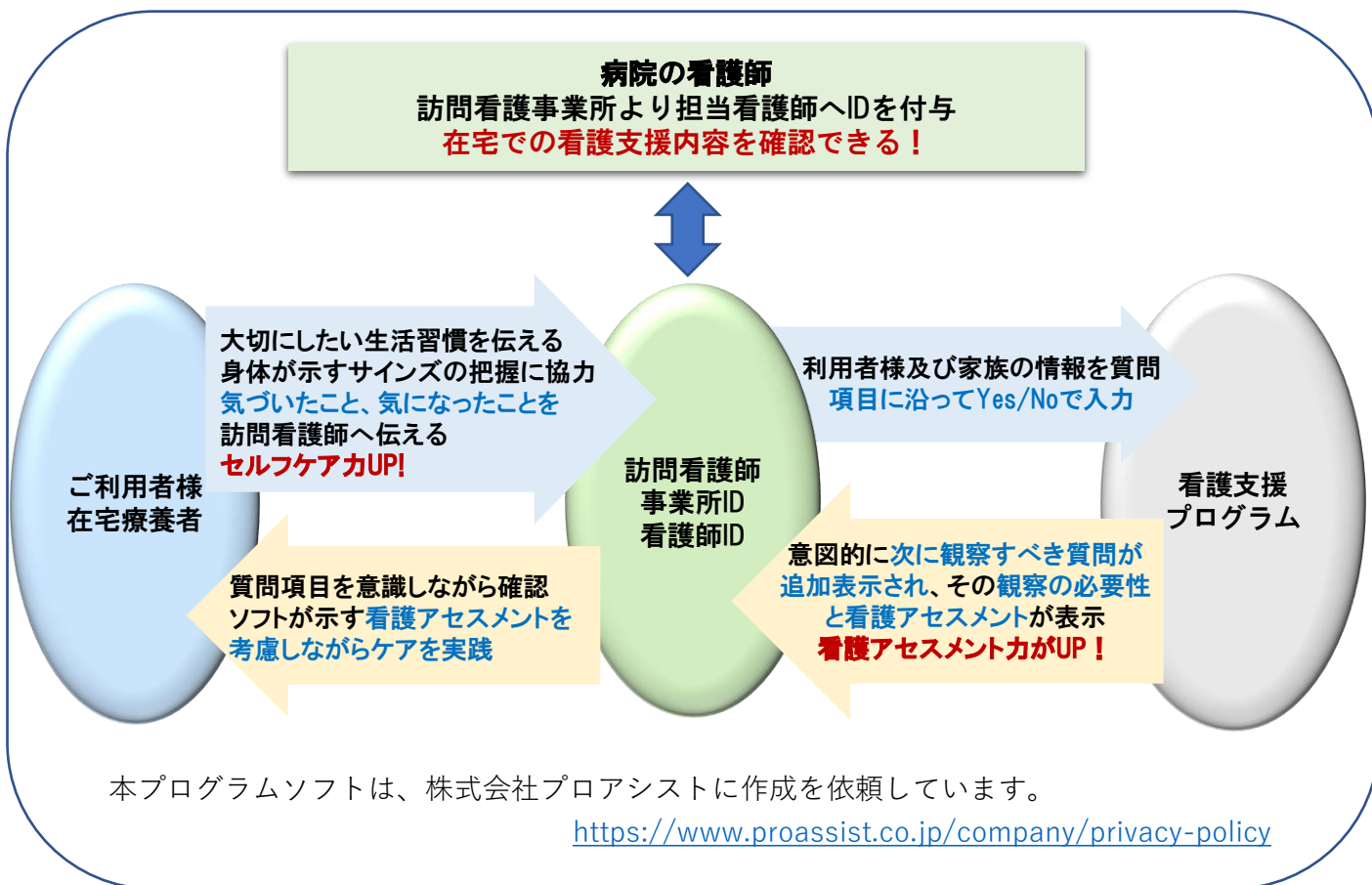


私は、神戸大学大学院保健学研究科の療養支援看護学分野において、慢性看護特に在宅高齢者に関する研究に長年取り組んでまいりました。病院と在宅をつなぎたい。臨床で活用できる研究をしたい、病院と在宅との隙間、研究と臨床との隙間を可能なかぎり、なくしたいという思いで、上記のメンバーと共に事例検討を重ねてまいりました。そして、何ができれば、急性増悪を予防でき、在宅療養の継続を支援できるのかについての看護アセスメントおよび看護実践内容を抽出し、このソフトを開発いたしました。

一般社団法人生活者支援ネットTARUS 代表理事:多留ちえみ



病院の看護師も在宅療養中のケア内容を見ることができます。



使ってみての感想



訪問看護師

- 最初は、たくさん入力しないといけないと思って戸惑ったけど、今まで観察していなかったなと思うことが多くあった。
- 症状から病態を考えられるようなPDFが多くあるから、勉強するきっかけになった。
- 利用者の方の症状から何が起きているのかを考えられるから助かる。など

まずは、1ヶ月間の無料トライアル期間をご利用ください。
観察とアセスメントとの関連等、教育にも活用できます。

問い合わせ先：活用方法などの詳細については、以下をご参照ください。

ホームページアドレス : <https://www.tarus.or.jp/>
問い合わせメール : chiemitaru@tarus.or.jp

一般社団法人生活者支援ネットTARUSは、非営利団体であり、本法人の内容にご賛同いただき、賛助会費によって運営しています。

